

西条市食品加工流通コンビナート構想（平成17年3月28日認定）

計画の概要

水素吸蔵合金を使った省エネ型冷凍・冷蔵システムを活用して、農水産品を集荷・加工・貯蔵し、消費地に供給するシステムを構築するとともに、食に関する研究所の設置などによって、農水産業・食品製造業などの食料産業の雇用増加、西条ブランドの確立などをめざす計画です。

水素吸蔵合金とは？

水素を吸収・貯蔵する性質を持った合金であり、水素を吸収するときに発熱し、放出するときに吸熱します。

進捗状況

㈱西条産業情報支援センターの支援を受けて、地元企業グループが新連携計画「水素エネルギーを利用した省エネルギー冷凍機等の開発と製造」（平成17年9月28日：経済産業省認定）を作成し、これに基づく事業を開始しています。また、省エネ冷凍・冷蔵システムを活用したビジネスモデルの構築、農工連携による食料産業の展開、食に関する研究所の設置などの検討も始まっています。

この構想は第一次から第三次まで、すべての産業で関わりを持ち、新市における産業政策の柱となるものです。市では今後とも様々な取り組みを地道かつ着実に進めていきます。

西条市産業情報支援センターの機能拡充・強化計画（平成16年6月21日認定）

計画の概要

西条市産業情報支援センターと同一敷地内にある旧西条市社会福祉センターを平成17年6月末までにインキュベータ機能、SOHO支援機能、研修機能などを有する産業支援施設へと転用・整備し、その後、㈱西条産業情報支援センターを中核に「内発型」の産業政策を展開し、さらなる地域経済の活性化と地域雇用の創造をめざす計画です。

インキュベータ、SOHOとは？

インキュベータは、新規事業の創出や新分野に進出しようとする個人・企業に対して、場所・人材・資金などの支援を行う施設です。SOHOは、IT（情報通信技術）を活用して事業活動を行う小規模事業者のことです。



▲新たに整備した技術相談室

進捗状況

計画より半年ほど遅れましたが、平成17年12月に旧西条市社会福祉センターをインキュベータ室、SOHO支援室として整備し、企業の入居を開始しました。また、技術相談室や(独)産業技術総合研究所と直結するテレビ会議システムの設置も予定されるなど、同センターの産業支援機能はさらに拡充・強化されています。市は今後とも㈱西条産業情報支援センターとの連携のもと、中小企業支援・地域産業活性化事業などを積極的に進めていきます。

西条市総合文化会館の再生による賑わいのまちづくり構想（平成16年6月21日認定）

計画の概要

平成8年に開館した総合文化会館は、旧西条市中央公民館との併設施設でしたが、平成16年11月の合併を期に中央公民館の機能を旧東予市中央公民館に統合することで、施設全体を総合文化会館施設として一体的に活用することにしました。このことによって、あらゆるニーズに対応できる施設として機能の拡充を図り、特色ある文化芸術を創出するとともに、個性ある文化情報の発信による魅力と賑わいあふれるまちづくりの実現をめざす計画です。

進捗状況

総合文化会館は施設全体の設置目的が明確化され、一体的な活用ができるようになったことで、利用者のより専門的で多目的なニーズへの対応が可能となりました。今後は時代に適応した市民サービスを提供できる施設として、民間事業者の有するノウハウを広く活用する指定管理者制度の導入など新たな体制づくりを進めるとともに、現在計画の中の新図書館など「水と緑に親しめるアクアトピア空間」を共有する周辺施設との連携によって、積極的な情報発信を行い、豊かな生活文化を醸成する賑わいのまちづくりを創造していきます。

今後の取り組み

ご紹介したこれらの計画を着実に推進するとともに、今後とも新たな地域再生計画を作成し、全国へ積極的に情報発信していきます。

お問い合わせ先：市庁舎本館企画課 企画調整係 TEL0897-56-5151内線2522